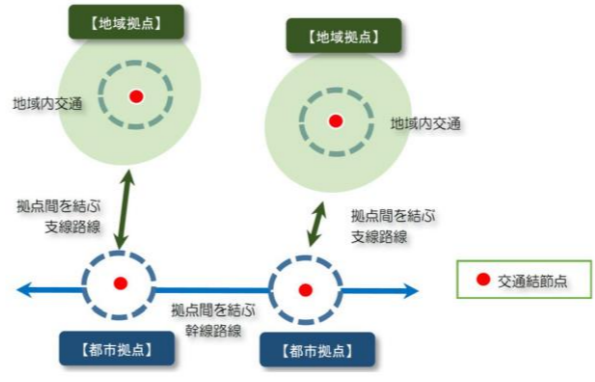
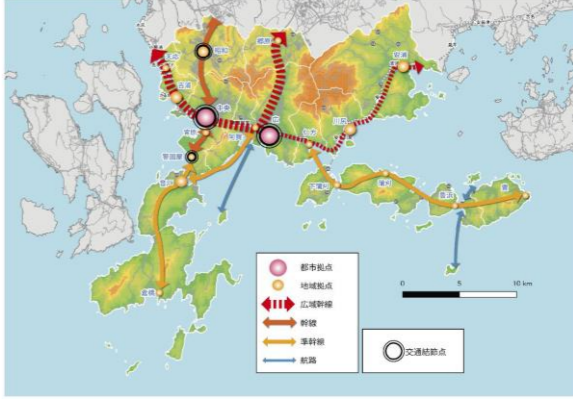


番号	章	ページ	頂いた意見等	意見に対する回答	修正対応箇所	
					旧	新
1	3	45	BRTという言葉は、専門的な用語であるため、市民にもわかりやすいように補足をいれてはどうか。	BRT及びMaaS等についての補足説明を追加します。	P45 (2) まちづくりの方針 まちづくりの方針5	P45 (2) まちづくりの方針 まちづくりの方針5 ※1 BRT：“Bus Rapid Transit”の略。連結バス、公共車両優先システム、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステム ※2 MaaS（マース）：“Mobility as a Service”の略。複数のモビリティを一つの交通サービスと捉える考え方 ※3 スマートシティ：都市や地域の抱える様々な課題に対して、AIやIoTなどの新技術を活用してマネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られた持続可能な都市・地区
2	3	49	居住誘導区域と一般居住区域（市独自区域）の基本的な考え方の違いがわかりにくいいため、居住誘導区域の説明の中に、“誘導”というキーワードを入れてはどうか。	居住誘導区域と一般居住区域の違いがわかるように記載内容を見直します。	P49 (2) 区域等の設定の考え方 ア 区域の基本的な考え方 生活機能維持区域 これまでどおりに暮らし続けられるよう、生活サービス機能の維持を図る区域 居住誘導区域 人口減少の中にあっても、地域に必要な生活サービス施設や地域コミュニティが維持・確保されるよう、一定の人口密度を維持する区域 一般居住区域 既存の都市基盤を適正に維持するとともに、地域コミュニティを持続しながら、これまでどおりに暮らし続けられるよう、ゆとりある居住環境を維持する区域（位置のイメージ） 市街化区域や用途地域内のうち居住誘導区域以外の区域	P49 (2) 区域等の設定の考え方 ア 区域の基本的な考え方 生活機能維持区域 コンパクトシティ形成のため、今後都市機能誘導区域への移転等を促しつつ、生活サービス施設の維持を図る区域 居住誘導区域 人口減少の中にあっても、地域に必要な生活サービス施設や地域コミュニティが維持・確保されるよう、 <u>居住を誘導し</u> 、一定の人口密度を維持する区域 一般居住区域 コンパクトシティ形成のため、今後居住誘導区域への <u>住み替え等を促しつつ</u> 、既存の都市基盤を適正に維持する区域（位置のイメージ） 市街化区域や用途地域内のうち居住誘導区域及び工業系の用途地域等の区域を除く区域
3	3	52	持続可能な公共交通として交通結節のイメージ図が示されているが、呉市の現状を踏まえるところのイメージ図のようなネットワークが妥当なのか疑問であるため、見直しはできないか。	現段階の持続可能な公共交通のイメージ図は、「平成26年度呉市地域公共交通ビジョン」のものを掲載しています。記載内容については、現在策定中である「呉市公共交通網形成計画（案）」の内容に差し替えます。	P52 3 公共交通に関する基本方針 公共交通に関する考え方 人口減少や少子高齢化に対応した、地域の活力向上と市民が便利に安心して暮らせるまちづくりを支える「持続可能な公共交通」を目指すため、次のことについて取り組みます。（一部抜粋） 	P52 3 公共交通に関する基本方針 公共交通に関する考え方 呉市地域公共交通ビジョンで掲げた理念を踏襲し、人口減少や少子高齢化に対応した、地域の活力向上と市民が便利に安心して暮らせるまちづくりを支える「持続可能な公共交通」を官民一体となって目指します。（一部抜粋） 
4	4	62	都市拠点には、都市拠点機能に加え、地域拠点機能も誘導施設に含まれる理解でよいか。	都市拠点は、都市拠点機能に加え、地域拠点機能も誘導施設に含まれます。誘導施設の設定においてもわかりやすいように追記します。	P62 (3) 誘導施設の設定 ■各拠点における誘導施設 地域拠点では、都市拠点機能を誘導施設に設定しません。	P62 (3) 誘導施設の設定 ■各拠点における誘導施設 都市拠点においては、 <u>地域拠点としての役割も必要となることから、地域拠点機能についても誘導施設として設定します</u> 。地域拠点では、都市拠点機能を誘導施設に設定しません。